

みんなにやさしい、特別支援教育 (15)

一昨日は、今年度になって初めての全体授業研究会でした。授業提供いただきましたA先生や5年生の先生方、ありがとうございました。

元気な子どもたちと先生のあたたかさで、しっかりと学級経営をされているなあと思いながら参観をさせていただきました。

研究会で話題になっていましたが、授業に対する子どもたちの姿勢もしっかりしていることは、A先生の日頃のご指導とともに、今日まで指導を重ねて来られた低学年からの積み重ねによるものと思います。また、1年生の子どもたちにとっては、初めての自習でしたが、静かに課題に取り組んでいました。これも、黒板に指示がしっかりと示されていたからだと思います。

今回の授業は、グループでリレー作文を完成させることでしたが、A先生は、グループで活動する場面での特別支援教育の視点で授業づくりに取り組んでおられました。



①活動の目的や手順を子どもたちに示す。

右の写真のように、グループ活動に入る前に、その手順を説明されていました。また、その手順を黒板に掲示して、活動中でも確認ができるようにされていました。

こうした丁寧な手順が、「どの子にも学びやすい学習」になっていくのです。



②活動に参加しにくい子どもへの支援の手立てを考えておく。



2分30秒という短い時間に文章を作ることは、なかなか難しいものです。特に

書くことが苦手な子にとっては、困ってしまうものです。そんな子どもたちのために、A先生は、「ミニ作家になれる 魔法のヒント」を手にして机間巡視をされています。

授業の中で使われることはなかったのですが、あらかじめ予想をしておいて、支援の手立てを考えておくことは大切なことです。



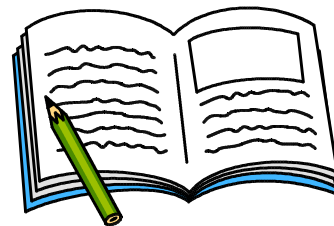
特別支援教育の視点を通常の学級の授業づくりに活かすことは、特別な支援を必要とする子どもたちだけではなく、すべての子どもたちに対しても効果が期待できます。

例えば、導入場面で、一部の子どもたちの特性に応じて学習課題（めあて）を分かりやすく提示することは、他の子どもたちにとっても、学習課題（めあて）が明確になります。

A先生の授業を参考にさせていただいて、グループで活動する場面での特別支援教育の視点を説明しましたが、授業全体を通して大切にしたい点を記しておきます。

①授業を始める前に

- 授業に関係のない、トロフィーや賞状、写真などに視線や気持ちが向かないよう、教室の環境に配慮していますか。
- 授業の準備ができていない子どもに声をかけるなどの支援の手立てを考えていますか。



②授業全体を通して

- 子どもたちの学習状況に応じて、「聞く」、「書く」などの活動を使い分ける工夫をしていますか。
- 板書を書き写したり、メモを取ったりするのが難しい子どもへの支援の手立てを考えていますか。

③導入の場面

- 学習課題（めあて）を黒板に提示していますか。
- 集中力が続かなかったり、学習の手順がつかみにくかったりする子どもへの支援の手立てを考えていますか。

④一人で考える（活動する）場面

- 考える視点や道筋を示していますか。

子どもたちのつまづきのパターンを把握して、そのパターンに応じた支援の手立てを考えていますか。

⑤グループで活動する場面

活動の目的や手順を子どもたちに示していますか。

活動に参加しにくい子どもへの支援の手立てを考えていますか。

⑥発表・話合いの場面

学年や時期、定着度に合わせて発表の話型を変えて示していますか。

友達の発表を聞けない子どもや、話し始めたら止まらない子どもへの支援の手立てを考えていますか。

⑦まとめの場面

学習した内容が明確になるように、子どもたちが確認したり、振り返ったりする場を設けていますか。

確認したり、振り返ったりするのが難しい子どもへの支援の手立てを考えていますか。

